

「県立新発田病院跡地活用整備計画（案）」に寄せられた主なご意見と市の考え方

テーマ	主なご意見	市の考え方
計画対象区域の拡大について	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊駐屯地の移動を強く望む。 ・早急に三階櫓に自由に入出入り出来るように自衛隊との話し合いを行なうこと。 	<p>本計画は県立新発田病院跡地の利活用について計画するものであり、対象区域の拡大については想定しておりません。</p> <p>市は、日ごろ地震や水害などの自然災害から市民の生命及び財産を守り、また被害軽減のため防災体制の整備を図っておりますが、市民の安全、安心のパートナーとして自衛隊が身近に存在することは大変心強く思っており、新発田駐屯地の移転については考えておりません。</p> <p>なお、三階櫓への自由な出入りについては、自衛隊施設の事情により制約がありますが、小学生を対象とした開放見学は毎年実施し、昨年度は新発田城竣工5周年記念事業として一般開放を実施しました。</p> <p>また、新発田駐屯地と少しでも多くの市民の皆様一般開放できるよう話し合いをしております。</p>
特別養護老人ホームについて	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に移転すべきである。 ・24時間人がいる施設があるという防犯上の利点や、そこに住む利用者の想いも含め、医療福祉交流発信基地としての活用も含め、跡地内での移転を含め検討すべきである。 	<p>計画対象地内に立地する特別養護老人ホーム二の丸は、社会福祉法人の運営する介護施設であり、移転に向け継続的に協議調整を行うこととしております。</p>
植栽について	<ul style="list-style-type: none"> ・緑＝芝生という単純な発想はふさわしくないのではないかな？ ・原生林のように色々な木がいっぱいある、空気の良い空間が良い。初から大きな木を入れても金がいっぱいいるので、未来の子供たちのために金がかからないように、小さな木を、色々な木をいっぱい植えてください。 ・大きな樹木の植栽は避けるべきである。 ・適度の植栽に留めて広場的に整備すべきである。 ・あやめ城とも言われているお城ですので、もっともっとアヤメを増殖してはいかがなものでしょうか！ ・100本単位の梅林をもうけるべきだ。 ・もう少し緑を添えてみるのがいいと考えます。(城の見え方に配慮する必要があるかもしれませんが...) ・現在の桜などの樹木の完全保護をすべきだ。 	<p>計画対象地では、防災機能を有した芝生広場を整備し、新発田城表門・辰巳櫓などの本市のシンボルとなる施設の眺望を確保する観点から、高木の密集などを避けて芝や低木を中心とした植栽により緑化に努めることとしております。</p> <p>アヤメについては、湿地に群生する植物であり、元来城の周囲に見られたものであることから、計画区域内に生育環境を確保できるかは疑問ですが、今後の実施設計の中で参考とさせていただきます。</p> <p>梅林については、市島邸にある既存樹木の梅林を活用した事業を実施しており、今後も梅林を活かした事業を実施していきたいと考えています。</p> <p>また、桜等の樹木については適切な手法により保全に努めたいと考えております。</p>

「県立新発田病院跡地活用整備計画（案）」に寄せられた主なご意見と市の考え方

テーマ	主なご意見	市の考え方
仮設住宅用地について	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅用地としては、この場所は相応しくなく、市内の別な場所を検討すべきだ。 ・防災避難場所として近隣住民の避難場所を確保すべきだ。 ・防災避難拠点としての活用が重要だ。 	<p>仮設住宅の建設については、様々な意見があると思いますが、当該地が中心市街地・市役所等に近接する貴重な空地であることから本計画の位置づけとしております。</p> <p>当該地を仮設住宅用地とすることにより、被災に対する市民認識が深まるとともに、早期の解決を願う市民意識に繋がるものと考えております。</p>
生涯学習施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・計画中の位置では不便なのではないか？ ・辰巳櫓の隣接地に武家屋敷やお茶屋を兼ね建設してはどうか？ ・観光案内所、休憩室、歴史展示物館、お土産物産館、軽い食事のできる場所もお願いします。 ・旧高等看護寮の跡へ、案内所、展示室等の施設（デザインに凝った仰々しい建物は避けて欲しい）で、歴史観を展示して欲しい。 ・辰巳橋の隣接地に武家屋敷等、お茶屋を兼ね建設。 	<p>複合・生涯学習施設の整備については、施設の内容・規模・位置などについて改めて検討することとしており、利用者の利便性を含め中長期の中で検討を行うこととしております。</p> <p>なお、お茶屋については、既存の安兵衛茶屋を活用しながら検討してまいります。</p>
市道の遊歩道化・代替道路の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の道路は歩行者専用道路として車の進入を禁止すべきだ。 ・近隣の方々の生活道路は現状で十分と考えられます。従って、代換道路は不要と考えます。 ・土橋門前の代換道路は、史実を無視するだけでなく、訪れる人々の交通安全を脅かします。当該地は、訪れた人達の駐車場だけにして、その他の車両は進入禁止とすべきです。 	<p>新発田城表門前市道については遊歩道としての整備を計画しております。</p> <p>また、新発田城表門前市道には、現在一日あたり1000台程度の交通が生じており、近隣の市民生活を維持する観点から遊歩道化に伴う代替路線の整備を行うこととしております。</p> <p>なお、安全確保については今後の具体の整備計画において必要な安全策を施したいと考えております。</p>
土居・堀について	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達の憩いの場を想定して、堀を関連する水空間を設け、夏季シーズンの賑わいを期待してみたいかがでしょうか。 ・辰巳櫓脇の内堀の復元を。 ・土橋門と土居・堀はセットで新発田城本丸正面防御の特色である帯曲輪となります。門だけではなく、土居の遺構を活用して堀も復元すべきです。 	<p>子どもたちの憩いの場となる水空間を設けることについては、水源の確保や水質管理、安全管理上の観点と土地の面的な活用を図る点から現時点では想定しておりません。</p> <p>堀の確保については、被災時等に利用可能な土地の確保が困難となる点、水の確保・水質維持の問題、安全上の問題などから、将来の復元可能性を保ちながら、現時点では芝による再現を行うに留めております。</p>

「県立新発田病院跡地活用整備計画（案）」に寄せられた主なご意見と市の考え方

テーマ	主なご意見	市の考え方
アクセス路・駐車場について	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地が県道に直結しておらず、アクセス性が低いので、検討が必要。 ・大手中の門の再建を考えれば、主導線は別にした方が良い。 ・樋口医院並びの旧ガソリンスタンド前からのアクセスを主動線とすべきだ。 ・駐車場は、紫雲寺線側と旧高等看護寮側の2箇所から出入りでき、中央帯は、芝生で広めのグリーンベルト構成にしてみたい。 ・東側の駐車場は景観上重要なポイントとなるので、一層の有効利用をはかるべきではないか。 	<p>県道からのアクセスについては、下越森林管理署前市道を活用することになりますが、この動線は旧県立新発田病院のアクセス路に相当しますので、日常的な混乱は生じないものと考えております。</p> <p>また、大手中の門の復元の可能性を保つ観点から、当該地における施設整備等を行わないこととし、当面はイベント時に限定されますが、複数のアクセスルートを確保しております。</p> <p>駐車場の整備にあたっては緑化ブロックなどを用いた駐車場の整備に努めることとしておりますが、具体的な駐車枠配置や整備内容については、施設整備にむけた実施設計において検討してまいります。</p> <p>東側の駐車場は、イベント時に活用することによる新発田城の眺望に配慮します。</p>
大手中の門について	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画で復元を位置づけるべきである。 ・復元計画が長期化するなら、緑地や駐車場等に何らかの手法で平面図を描くなどして、比定地(古図、絵図から発掘すれば遺構があると推測される土地)を平面復元してはどうか。 	<p>大手中の門の復元にあたっては、下越森林管理署敷地の割譲や市道の廃止を含めた調整が必要となるため、現時点では将来的な復元可能性を担保することに留めております。</p> <p>数多くの遺構については、公園（防災公園）や景観に配慮し、遺構の所在を表示する看板などの設置を検討する必要があります。</p> <p>また、看板等を設置する際は、あらためて市民意見をいただきながら進める必要があります。</p>
武家屋敷について	<ul style="list-style-type: none"> ・武家屋敷の早期復原を望む。 	<p>武家屋敷については、本計画対象地内には復原の計画はありませんが、改めて場所などを含めその復原のあり方を別途検討する考えです。</p>

「県立新発田病院跡地活用整備計画（案）」に寄せられた主なご意見と市の考え方

テーマ	主なご意見	市の考え方
交流促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・新発田城等の観光客や商店街への日常的な買物の便を図るべきだ。 ・観光地新発田のハブとして、車で来た客に対し自転車などを用意し、市内の観光発信場所としてはどうか。 ・新発田城を観光の拠点として、春夏秋冬、現在ある観光資源・イベント等を集中すべきです。 	<p>新発田市を訪れる人に対して、新発田市の歴史・文化・物産などを広く紹介するとともに、観光情報の提供などを通じて、新たな賑わいや交流を育む拠点としての整備を計画しておりますが、中心市街地の活性化に向けては、行政計画の担い得る範囲は必ずしも大きくなく、今後の市民・事業者の理解と協力が必要となります。</p> <p>市民・来訪者の交流の促進として、四季を通じて、市民・来訪者が集い、交流する新発田市の賑わいの核とするために、インターネット等の媒体を使った観光資源の情報発信を行い、市内外へのPRの充実等について、民間事業者・市民等と連携し進めていく必要があると考えております。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・城址公園を含めて、周回するジョギング路を整備して欲しい。 ・広場の呼称ですが、「防災公園」は、城下町のイメージにそぐわないですね。「新発田城前広場」（「皇居前広場」が一例）あるいは「大手門広場」（「天安門広場」が一例）また、「二の丸広場」（県立病院をかつて「二の丸病院」と呼んでいた覚えがあるます）などいかがでしょうか。「宮城前広場」（当時）も関東大震災のときは、被害者に解放され「防災公園」の役割を果たしています。 ・市役所を建設するのが良いと思う。 	<p>本計画対象地内の防災公園に外周園路を整備し、市民が日常的に散策やジョギング等に利用できるように配慮したいと考えています。</p> <p>公園名、駐車場名は、分かりやすい名称が必要と考えられますので市民意見を参考として検討したいと考えております。</p> <p>新庁舎の建設位置については、市民や事業者の利便性、各種計画に掲げる中心市街地での役割、他の公共機関との関係等を総合的に判断する必要があると考えています。</p> <p>市庁舎が、「まちづくり総合計画」や「都市マスタープラン」等において中心市街地の中核を担っていること、また、現庁舎周辺に市立図書館、市民文化会館等の文化施設、裁判所、警察等の公共機関が集中していることから、新庁舎の建設位置は、現庁舎周辺が適地と考えております。</p> <p>今後、新庁舎の「基本構想案」「基本計画案」の策定時に現庁舎周辺を基本として検討していきたいと考えております。</p>